

平均寿命が上がり、どんどん老後が長くなっているこの時代。年金だけに頼らず、自分で資金を増やすことを考えることも必要です。その方法の一つである資産運用の基本について、ファイナンシャルプランナーの須原光生さん(58)に聞きました。



金融・投資 教育コンサルタント  
ファイナンシャルプランナー  
**須原 光生さん**  
【MEMO】  
日本FP協会奈良支部  
<https://www.jpfp.or.jp/shibu/nara>

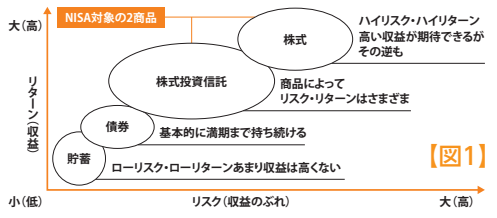
**資産を増やす方法は 超低金利時代は運用も**

資産を増やす方法は3つあります。ひとつ目が働き続けること。年齢や男女を問わず勤労所得を少しでも高めることがです。二つ目が家計を見直すこと。節約ではなく保険や通信費、家や車など根底となる生活スタイルの見直しを行うことです。そして三つ目がお金でお金を増やす、資産運用となります。

そのための資産を増やしたいと考える場合には、株式投資信託や株式を考える必要があります。ただし、リターンが多いものほど予想通りにならないこともあります。元割れするリスクがあることを認識して行いましょう。

資産運用には貯蓄、債券、株式投資信託、株式などがあります。超低金利の現在、例えばゆうちょ銀行の定期貯金の金利は0.01% (2019年2月6日現在) であり、100万円を1年間預けても

少しでもリスクを和らげるためには、投資のタイミングを何回かに分ける時間分散。集中して同じ所に投資しない分散投資などがあります。投資の世界で「一つのかごに卵を盛るな」は基本です。また生活の痛手にならない資金で行い、気持ちにも余裕を持つことが大切です。



【図1】  
リスク(収益のふれ) 大(高) 小(低)  
リターン(収益) 大(高) 小(低)  
基本的には満期まで持ち続ける  
ローリスク・ローリターンあまり収益は高くない  
ハイリスク・ハイリターン 高い収益が期待できるがその逆も  
商品によってリスク・リターンはさまざま  
株式  
株式投資信託  
債券  
貯蓄

株式投資信託と株式の違いは、金融商品の選択や運用をプロに任せるか、自分で会社を選ぶかです。株式の場合、好配当利回りや、株主優待などが自分の楽しめるものであったり、生活に関わっている身近な会社を応援する気持ちで選ぶと良いでしょう。

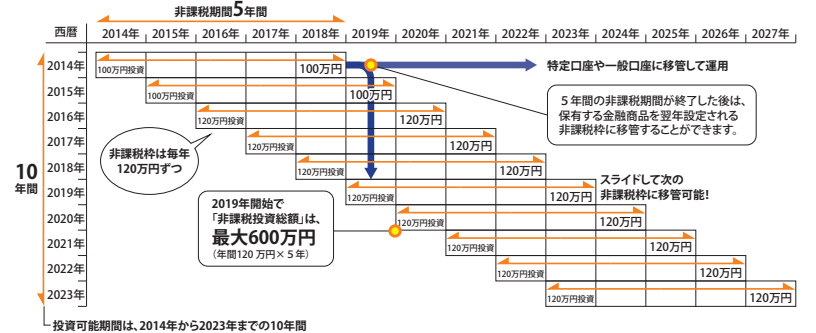
**鳥シリーズ運用**  
今の時代、貯金をして利息はスズメの涙。利息が高く、安全だという話はサギに会い、営業マンのいいカモになるだけ。夫婦でしっかり運用について話し合っておしどり夫婦に。しかし力を入れすぎるとホロホロ鳥に。行き過ぎて何もかもなくすとアホウドリ。楽しみながら、ゆっくりじっくりと不死鳥の資産運用を行いましょう。(須原)

2014年に始まった「一般NISA」は、投資を楽しむことが大事。その中で節税になる制度を利用するののも一つの楽しみ方です。そこで注目されているのがNISA(少額投資非課税制度)です。

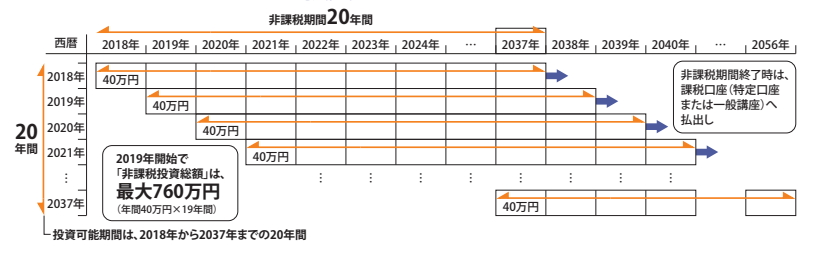
【図2参照】  
どちらも国が資産運用を後押ししている制度で、通常20%以上かかる税金がかららないということとはとても大きな節税になり、使わない手はありません。しかし「一般NISA」と「つみたてNISA」を同じ年に同時に利用することはできず、どちらかを選択することになります。NISAを

# 人生100年時代 初級編 将来実がなるお金の運用

**【図2】 一般NISAの投資イメージ**



**【図3】 つみたてNISAの投資イメージ**



投資されているかを確認しておくことも大切です。例えば外国の株は自分ではなかなか買えませんが、プロに任せることで世界に目を向けるきっかけにもなります。

【図2参照】  
昨年始まった「つみたてNISA」は、毎年40万円を上限として購入した一定の株式投資信託の分配金や売買益が非課税で20年間保有することができ、2037年まで実施される制度です。

【図3参照】  
皆さんの株式投資信託からの投資先を選ぶのは難しい判断ですが、「つみたてNISA」は162の対象商品を金融庁が選んでおり、HPで公開されています。いわば、金融庁の「お墨付」が与えられているようなもの。ほかの運用にも参考にできます。

須原さんが奈良支部長を務める日本FP協会では、資産運用やライフプランなど、くらしとお金のFP教室などを随時開催しています。将来に向け、早めに自分の資産について考えてみてはいかがでしょうか。